

それぞれの思いを胸に 小・中・義務教育学校入学式



4月8日、市内の小・中・義務教育学校で入学式が行われました。例年、始業式と同日開催でしたが、教職員の負担軽減を目的に2日遅れでの実施となりました。2023年度に義務教育学校・金峰学園へと移行する金峰中学校では、県内の公立中では初めて性的少数者(LGBT)に配慮した新しい制服が導入され、新入生代表の小辻美咲さんは「金峰学園の未来が明るい方向に向かうように第1期生として道しるべになりたい」と誓いの言葉を述べました。



また、内山田小学校は2年ぶりに新1年生が入学しました。1年生のりつかさんは、真新しいランドセルを背負いながら嬉しそうに先生と手を繋いで入場し、新入生紹介では、児童や地域住民が見守る中、堂々と自己紹介をしていました。待望の1年生に、6年生の橋口真桜さんは「新入生が入学して嬉しい。小学校は楽しい活動があるので、たくさん思い出を作りましょう」とあいさつしました。

記憶を風化させない 万世特攻慰霊第50回碑慰霊祭



4月11日、万世特攻平和祈念館の慰霊碑「よろずよに」前において、万世特攻慰霊碑慰霊祭が開催され、旧隊員やその遺族など約150人が参加しました。第50回の特別記念事業として高校生による特攻隊員の遺書や手紙の朗読も行われ在りし日の隊員を偲びました。若者を代表して、万世中学校3年の堀之内月乃つきのさんは、「戦争の記憶を風化させない為に、戦争について学び未来に伝えていく責任があります。千年・万年平和でありま



すようにとの願いが込められた石碑の前で、平和とは何か、自分に出来ることは何なのかと考え、命を大切に生きていきます」とこの地を飛び立った201柱の御霊に誓いました。また、同祈念館のリニューアル記念式典も同日開催されました。今回のリニューアルでは、収蔵品の更新に加え平和学習などに使う研修室や特攻隊員遺族らの証言をまとめた映像資料の閲覧室を増設、多言語への対応なども行われました。